

1. 略歴

1981年3月	東京大学文学部第1類（文化学類・倫理学専修）卒業（文学士）
1983年3月	東京大学大学院人文科学研究科倫理学専攻修士課程終了（文学修士）
1983年4月	東京大学大学院人文科学研究科倫理学専攻博士課程進学
1986年3月	東京大学大学院人文科学研究科倫理学専攻博士課程単位取得退学
1986年4月	跡見学園女子大学文学部非常勤講師 ～1989年3月
1987年4月	日本学術振興会特別研究員 ～1989年3月
1989年4月	専修大学文学部非常勤講師 ～1990年3月
1990年4月	北海道大学文学部哲学科倫理学講座助教授
1995年4月	北海道大学文学部人文科学科倫理学講座助教授（学部改組による）
1996年10月	東北大学文学部哲学科倫理学講座助教授
1997年4月	東北大学文学部人文社会学科哲学講座助教授（学部改組による）
2000年4月	東北大学大学院文学研究科哲学講座助教授（大学院重点化による）
2000年10月	東京大学大学院人文社会系研究科助教授
2007年10月	東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動**a 専門分野**

倫理学原理論、近現代西欧倫理思想

b 研究課題

倫理学的諸概念の哲学的考察

c 主要業績**(1) 著書**

- 単著、熊野 純彦、『埴谷雄高 夢みるカント』、講談社、2010
- 編著、熊野 純彦、『近代哲学の名著』、中央公論新社、2011
- 編著、熊野 純彦、『西洋哲学史 I』、講談社、2011
- 編著、熊野 純彦、『西洋哲学史 IV』、講談社、2012

(2) 論文

- 熊野 純彦、「空間経験の基層」、『国立民族博物館調査報告』、90、23-39頁、2010
- 熊野 純彦、「世界と他者を肯定する思考のために」、『現代思想』、40-3、322-334頁、2012
- 熊野 純彦、「マルクスをどう読むか」、『立命館哲学』、23、1-38頁、2012

(3) 解説

- 熊野 純彦、「西田の影のもとで——詩人哲学者の系譜について」、『図書』、2010-2号、18-21頁、2010

(4) 翻訳

- 個人訳、I. Kant、「Kritik der reinen Vernunft」、熊野 純彦、『純粹理性批判』、作品社、2012